



1月12日

「この写真はどうやって撮ったの?」と聞きたくなるような写真が6点。

瑞浪市美術展 写真の部入賞作品

稲津在住、奥村洋子さん(川折)と小栗正敏さん(中洞)のお二人に、美術展に入賞された作品と思い出に残る作品を展示していただきました。新型コロナウイルス感染症拡大前は、温泉地や観光地・寺社などを訪れ写真撮影をしていたそうですが、今はなかなか外出できていないそうです。

公民館に訪れた方たちは、写真を通して四季のうつろいや自然の豊かさ、人の温かさを感じていました。



公民館ロビー 二人展

1月17日 公民館利用者を誘導! 避難訓練

火災が発生した状況を想定して、安全な場所へと避難する訓練をしました。「只今、公民館給湯室から火災が発生しました。」という館内放送と同時に、職員の誘導に従い利用者は落ち着いて外に避難することができました。職員は初期消火・消防署への通報・館内アナウンスなど、いざという時にパニックにならないように訓練を繰り返しています。

参加者は実際の消火器を使って消火訓練をしました。皆さん使い方を熟知されていてスムーズに消火ができ心強い限りです。

注 消火器で消火する場合は、火の根元をねらい、手前からほうきで掃くように薬剤を放射するといひそうです。



輝いています! 稲津町女性会議

稲津町女性会議は、各地区代表の20名で構成しています。まちづくり推進協議会の地域推進部に属し、稲津のまちづくり事業に協力しています。

毎年メンバーが変わるので、ハンドメイドやお菓子作り、ヨガ・体操など、楽しい講座を開いて親交を深めています。

ここ2年は新型コロナウイルス感染症の影響で予定どおり講座など開催できていませんが、昨年度はクリスマスリースを作り、作品を文化祭で展示しました。今年度はプリザーブドフラワーでフォトフレーム作りをしました。

皆で、わいわいがやがや(今はできませんが)しながら作品を作るのはとても楽しいです。夏祭りには屋台を出し、文化祭ではスタッフの賄い作りなどもします。学生時代の文化祭を思い出して楽しみながら町民と交流します。

日々の生活に忙しいと思いますが、地区代表になった機会に自分の時間を持つてみるのもいいのではないのでしょうか。



稲津宅老所「いなほ」の危険木を伐採します

稲津宅老所「いなほ」(旧稲津村役場)敷地内のハナノキは、幹の空洞化による倒木の恐れが、また桜は老朽化により太い枯れ枝が落下する恐れがあり、危険な状況にあることが判明しました。

古くから町民の皆さまに親しまれてきた木ではありますが、前の道路は通学路であり車両の往来も多いことから、危険回避のため、2月中旬に市が2本の木の伐採作業を行う予定です。ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

※宅老所は11月より再開所していましたが、新型コロナウイルス感染症「まん延防止等重点措置」が発出されましたので、しばらくの間お休みします。



ii-nuts!!ギャラリー

書初め展
2月4日(金)まで

第9回中学生書初め展

中学校で選ばれた書初め16点がロビーに並びました。陶地区の生徒さんの作品は陶公民館で、稲津地区の生徒さんの作品は当公民館でそれぞれ展示を行い、大勢の方に見ていただくことができました。

全ての作品に意志を感じる力強さがあり、見る人を勇気づけるようでした。



2月の稲津さん

公民館をピッカピカに!

伊東 時子 さん 71歳(山の田2号)



57歳の時、腰の手術をしました。しばらく自宅療養していましたが、回復してくると家にいることがもつたないと思うようになりました。そんな時、シルバー人材センターは、短い時間でも働けるという話を聞き登録しました。そこで紹介されたのが稲津公民館の清掃の仕事で、あっという間に10年が経ちました。

掃除なので、家事の延長みたいで難しくはなく、夏は草取りなどもします。公民館を、少しでも気持ちよく利用してもらえるよう心がけています。

仕事に来ることで、平凡な毎日に違う風が吹いてくるようで楽しいです。仕事の他には、スガ文サロン同好会で手芸作品を作って楽しんでいます。

隔週で週に3回、細かい所まで気にかけてくださるので、公民館はいつもきれいに保たれています。

ii-nuts!!ギャラリー 今月の稲津さん 募集



『ii-nutsギャラリー』は公民館のロビー展示です。来館者に四季を感じて楽しんでいただこうと、工夫しながらロビー展示をしています。あなたの作品や趣味で収集した物など展示してみませんか?

『今月の稲津さん』は、稲津町内で頑張っている人を紹介するコーナーです。幅広い年齢層の方を掲載させていただきたいと考えています。自薦他薦は問いません、公民館まで情報提供をお願いします。

稲津公民館 ☎68-3201

市県民税・所得税の申告相談会

令和3年中所得の市県民税・所得税の申告相談会を開催します。必要な方は申告をしてください。

会場	開催日(土・日・祝日を除く)	時間
瑞浪市役所	2月16日(水)~24日(木)・3月7日(月)~15日(火)	9時~16時
稲津公民館	2月28日(月)	9時~15時

※マスク着用での入場・検温・手指消毒等コロナ対策へのご協力をお願いします。 ◎問合せ:市役所税務課 ☎68-9751

人口	12月1日現在			1月1日現在			増減	不燃ごみ	ビン・缶・ペットボトル・紙類・古着
	男	女	計	男	女	計			
小里	2,072	2,154	4,226	2,070	2,148	4,218	-2	2月16日	2月22日
							-6	3月16日	3月25日
	4,226	4,226	4,226	4,218	4,218	4,218	-8	2月15日	2月21日
世帯数	1,713	1,713	1,713	1,708	1,708	1,708	-5	3月15日	3月24日

館長ノート

バスストップ

自分の家の前がバスの停留所。道路を挟んだ向こう側に通学・通業者の多くの人だかりができる。自分もその中の一人であった。明智、岩村から多い時間で3台のバスが停留所に到着する。そのすべてが満員であった。「このバスに乗らないと電車に乗り遅れる。」お尻から乗り込み、かばんを胸に抱えホッとする。そんな毎日が30年ほど前に日常的に行われていた。

現在、家の前にバスを待つ通学・通業者の姿をほとんど見ることがなくなった。1時間も何本も運行されていたバスも1日に数本、外から来たバスの乗客が数人である。時代の流れを感じる1コマかとも思う。

あの頃の時代は、車は高価なものであり今のように1人1台の時代ではなかった。今では、通学・通学にマイカーを使う便利な世の中になった。風呂も薪から電気・灯油にトイレも棒たわしでこしこし洗う時代から洋式化、乾式トイレが多くなった。水洗トイレが普及してきた。日本経済が急速に発展した象徴なのだろうか。生活様式が大きく変化した。まだまだ今後より便利な世の中が訪れるだろう。

当たり前前の生活に慣れていくが、ほんの数十年前に忘れ去られた今思えば不便な時代があった。その礎を築かれた先人の皆さんの頑張りが今の世に繋がっていることに感謝したい。

(M)